

オンラインを活用した 高齢者・障がい者との関わり

社会福祉施設では、新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちを受け入れての高齢者・障害者との交流や施設見学などが難しくなっております。

しかし、そのような状況でも、“高齢者・障害者と関わる”魅力や意義とは何かを伝えていけるよう、オンラインを活用した学習をご紹介します。

人との繋がりが希薄になっている今だからこそ、他者との交流や関わりを通して自分と異なる人を認め合い、人の気持ちに共感できる力や自分の考えを表現できる力を育める契機になれば幸いです。

① あいさつ・紹介



【学校①】
クラスごとに学級目標などを交えてクラス紹介。

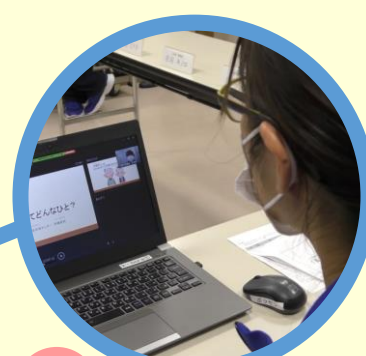


【施設①】
施設長あいさつ

② 講話・質問タイム



【学校②】
高齢者の特徴について説明を受ける。
施設側から「高齢者のイメージは？」などの質問もあり。



【施設②】
資料を画面共有しながら、説明。

④ 交流

今一番嬉しいことや楽しいことなんですか？



【学校④】
利用者の方との交流。
各クラスの代表生徒が自己紹介、質問を投げかけました。

ぬり絵が仕上がった時です。



【施設④】
子どもたちからの質問に対し、職員さんがフォローを入れながら回答。

③ 施設見学



【学校③】
オンライン施設見学



【施設③】
撮影しながら、施設内を紹介。

高齢者編

① あいさつ・紹介



【学校①】

クラスごとに学級目標などを交えてクラス紹介。



【施設①】

施設長あいさつ

完成した作品です！
季節ごとに素材を
変えて作成しています。

② 講話・施設見学



【学校②】

オンライン施設見学



【施設②】

予め作成した施設紹介動画に説明を加えながら投影。終了後、動画の中で利用者さんが作業されていた物の完成品を紹介。

今までスカイツリー以外で出かけたところはありませんか？



【学校③】

利用者の方との交流。各クラスの代表生徒がまずは自己紹介を行い、質問を投げかけました。

③ 交流



【施設③】

子どもたちからの質問に対し、職員さんがフォローを入れながら回答。

障害者編

先生たちの声 (高齢者編)

- ・オンラインで高齢者の特徴、施設の紹介、質問タイムの流れ、とてもよかった。
- ・答えて下さる方の名前をあらかじめ教えていただいたのも、子どもたちなりに〇〇さんは～と振り返ることができて、個人に焦点が当たりよかった。
- ・行き帰りの時間を短縮できて、記憶が鮮明なうちに振り返りの時間が持てた。

先生たちの声 (障害者編)

- ・オンラインで作業の様子を見せていただき、どんな活動をしているかよくわかった。
- ・施設見学の動画データを送っていただけだったので、繰り返し見ながら、振り返ることができた。
- ・事前に計画などを立てていただいているので、とてもわかりやすく進められた。

子どもたちの声 (高齢者編)

- ・つらい思いをしているのかと思ったけれど、ぬりえなど楽しい活動をしていることがわかった。
- ・できないことがあっても自分はこうなんだと思って明るく過ごしていることがわかった。
- ・高齢者になるのがいやだなと思っていたけど、いやじゃなくなった。

子どもたちの声 (障害者編)

- ・当事者の「困ったことが全くない」という反応に、驚いた。担任の先生から「なんでかな？」と聞かれ「助けてくれる人がいるから」「楽しいことがあるから」「好きなことをしているから」と思った。
- ・「困ったことや大変なこともあるけれど、明るくて楽しそう」とイメージが少し変わった。